

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 4 月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間を想定した避難訓練の実施を消防署と一緒に実施する。	年間に1回は夜間消防避難訓練を実施する	防火管理者を増やすため、防火管理者講習を職員1名に受講させ、管理者補助を育成し、訓練の実施を実現する。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期の支援への取り組みについて、医療・家族・職員間での密な話し合いがもたれ、情報の共有が出来る支援への取り組みが今後も継続して行う。	ターミナルの経験を新任職員も共有できるようにする。	今後、ターミナルについて経験のある職員から新任職員に対しての指導を行うと共に、ターミナルケアについての研修に積極的に参加させる。	12ヶ月
3	10	家族会の開催(相互交流や意見交換等)への実現につけての取り組みを実現する。	家族会の設置は家族との話し合いにより実施予定はないが、家族と共に過ごせる時間や行事を施設で多く設定する。	家族・利用者・職員が共に過ごす時間を多く設定し、家族の要望等が多く聞ける機会を多く持つ。	12ヶ月
4	4	地域の中で暮らし続ける利用者のサポートの一環として、地域に根ざした会議の向上を目指す	地域の方々に多く参加していただく。	新たに地区民生委員さんにも案内を出し、メンバーの拡大をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。